

平成 10 年度 再評価実施事業（国庫補助事業）調書

事業所管部局		建設省都市局街路課	
計画事業名	都市計画道路の整備 丸子中山茅ヶ崎線 (丸子通)	事業担当局	建設局
事業採択年度	着手年度 昭和 56 年度	認可・承認等年度	昭和 56 年度
経過年数	18 年	該当条項	事業採択後 10 年を経過
完了予定年度	平成 12 年度	関連事業名	
事業の 目的 概要 課題	事業目的 多核ネットワーク型の都市構造を支える都市軸交通幹線網の整備と共に、環境に配慮した質の高い生活空間を形成する。	事業採択時の背景・及び契機 本路線は、東京と横浜を結ぶ川崎市の中央を横断する主要幹線道路であり、交通渋滞が激しく又、大型車両が多く交通安全対策上からも早急に整備をする必要がある。	
	事業内容 区 間：丸子通 1 丁目～小杉陣屋町 1 丁目 道路延長：L=616m 幅 員：W=15m（現況：W=7m）	事業採択（着工、未着手）から基準年を経過している主な理由 本路線は近隣商業地域であり、大小の店舗等が密集している。このため、事業用地を取得するにあたり、営業補償・生活再建等の交渉に多大な時間を要したことによる。	
	事業費規模（単位：百万円） 事業費 4,712 （うち国庫補助金 2,356） 残事業費 72	現状の課題 用地取得率 99%（H10 年 3 月現在） 未取得の事業用地も取得可能な状況であり、平成 12 年度完成に向け事業を推進させている。	

評価の概要	本路線は、交通量が多く慢性的に渋滞している状況である。また、歩道が未整備の箇所があり、交通安全上も道路整備が必要な路線である。 地域防災計画で緊急輸送道路に指定されている。
-------	---

再評価への考え方	本路線は、首都圏周辺諸都市との連携強化を推進する広域的な幹線道路であり、「川崎新時代 2010 プラン」に位置づけられている。 事業採択時の背景及び契機の一つであった交通渋滞は、現在では、更に悪化し、円滑な交通の流れを確保するため及び交通安全対策上からも早期整備が求められており、また、緊急輸送道路にも指定され、防災対策・危機管理上からも早期整備の必要性が求められている。 さらに、事業用地のほとんどをすでに取得しており、未取得用地の確保になってきており引き続き事業を継続することが必要である。
対応方針案	対応方針案（ 継続 、中止、休止） 対応方針案の考え方 社会情勢は、事業採択時以上となり、早期完成が望まれている。事業は、平成 12 年度完成目途に進めており、事業用地のほとんどを取得している。 以上のことから、事業を継続することが必要であると判断できる。 なお、今後、事業を進めるにあたっては、住民ニーズを十分に把握した対応をとるとともに、事業の重要性等をさらにアピールし、関係者の理解協力を得られるよう努力していく。